



# 本巣市 議会だより

第72号

## contents

正副議長あいさつ	P. 2
新議員の紹介	P. 3
令和3年第3回定例会開かれる	P. 4
1会派が代表質問に立つ	P. 9
8人が一般質問に立つ	P.10
委員会活動	P.14
審議結果	P.17
特集	P.18



# 本巣市議会だより

## ●正副議長あいさつ●

議長あいさつ



議長 黒田 芳弘

この度議員各位にご推挙いただき議長に就任いたしました。改選された新しい議会での重責を担う決意を新たに誓う所存であります。

この度議員各位にご推挙いただき議長に就任いたしました。改選された新しい議会での重責を担う決意を新たに誓う所存であります。活発な議論が展開される上で正しい結論を見いだしていきたいと願います。

この度議員各位にご推挙いただき議長に就任いたしました。改選された新しい議会での重責を担う決意を新たに誓う所存であります。活発な議論が展開される上で正しい結論を見いだしていきたいと願います。

副議長あいさつ



副議長 河村 志信

この度議員各位のご推挙をいただき、副議長に選任され、身に余る光栄であります。

市民の皆様も自信を持つて「住んでいることを誇れるまち」になるために、議長の補佐に努め、連携して新しい風を吹かせ、若い世代にとつても、高齢の方々にどうでも「ずっと住み続けたいまち」の実現に向けて取り組む所存です。

また、「現状維持は衰退に」を肝に銘じ、変化を恐れず、ポリシーとビジョンをもって副議長職を務める決意です。

市民の皆様におかれましては、お力をお願いいたします。

## 新たな議会構成決まる

区分	職名	氏名		備考			
正副議長	議長	黒田 芳弘		R3.10.8就任			
	副議長	河村 志信					
区分	職名	氏名		備考			
監査	監査委員	上谷 政明		R3.10.8就任			
区分	名称	定数	委員長	副委員長	委員	備考	
議会運営	議会運営委員会	6	大西徳三郎	河村 志信	鍔本 規之 高田 浩視	堀部 好秀 今枝 和子	R3.10.8就任 (任期1年)
区分	名称	定数	委員長	副委員長	委員	備考	
常任委員会	予算決算	15	鍔本 規之	高田 浩視	大西徳三郎 道下 和茂 堀部 好秀 今枝 和子 高橋 時男	上谷 政明 臼井 悅子 河村 志信 高橋 勇樹 片岡 孝一	R3.10.8就任 (任期1年)
	総務企画				飯尾 龍也 高橋 知子	黒田 芳弘	
	文教福祉				臼井 悅子 河村 志信	高橋 時男	
	産業建設				上谷 政明 飯尾 龍也	黒田 芳弘	
					高橋 知子	堀部 好秀	
					黒田 芳弘	片岡 孝一	
					堀部 好秀	瀬川 照司	
					片岡 孝一	瀬川 照司	
区分	名称	定数	委員長	副委員長	委員	備考	
特別委員会	議会だより編集	5	高橋 勇樹	河村 志信	高田 浩視 高橋 知子	片岡 孝一	R3.10.8就任
	庁舎整備検討	6	大西徳三郎	臼井 悅子	鍔本 規之	河村 志信	
					高橋 時男	飯尾 龍也	
区分	職名	定数	議員			備考	
広域	もとす広域連合議會議員	5	道下 和茂 瀬川 照司	鍔本 規之	今枝 和子 飯尾 龍也		R3.10.8就任

## ●新議員の紹介●

# 新議員の紹介



臼井 悅子



道下 和茂



上谷 政明



大西 徳三郎



河村 志信



堀部 好秀



鍔本 規之



黒田 芳弘



高橋 時男



高橋 勇樹



今枝 和子



高田 浩視



高橋 知子



瀬川 照司



飯尾 龍也



片岡 孝一

●令和3年第3回定例会開かれる●

# 定例会開かれる

継続費精算の報告1件、条例制定1件、条例改正2件、  
その他2件、意見書1件について審議・決定しました。

## ○令和3年度本巣市一般会計補正予算

- 一般会計補正予算（第5号） 1億264万円を増額し、総額189億3,552万円となりました。

## ○令和3年度特別会計補正予算

- 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）  
施設勘定 4,837万円を増額し、総額34億4,837万円となりました。

## ○令和2年度本巣市一般会計継続費精算報告書について

- 真桑幼稚園整備事業に係る継続費精算報告

## ○条例関係

- 過疎地域の持続的発展の支援に係る本巣市固定資産税の特例に関する条例について
- 本巣市障害者生活支援センター条例の一部を改正する条例について
- 本巣市小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例について

## ○決算認定

- 令和2年度本巣市一般会計歳入歳出決算について
- 令和2年度本巣市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について
- 令和2年度本巣市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について
- 令和2年度本巣市企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算について
- 令和2年度本巣市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について
- 令和2年度本巣市水道事業会計決算について
- 令和2年度本巣市下水道事業会計決算について

## ○その他の議案

- 物品売買契約の締結について（府内LANネットワーク機器（インターネット接続系機器等））
- 本巣市過疎地域持続的発展計画について
- 専決処分の報告について（公用車の事故に係る損害賠償）

## ○議員発議

- コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について

●令和3年第3回定例会開かれる●

# 令和3年第3回

8月17日～9月8日、令和3年第3回定例会を開き、  
物品売買契約の締結1件、補正予算2件、決算認定7件、

## コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財政不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保の為、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

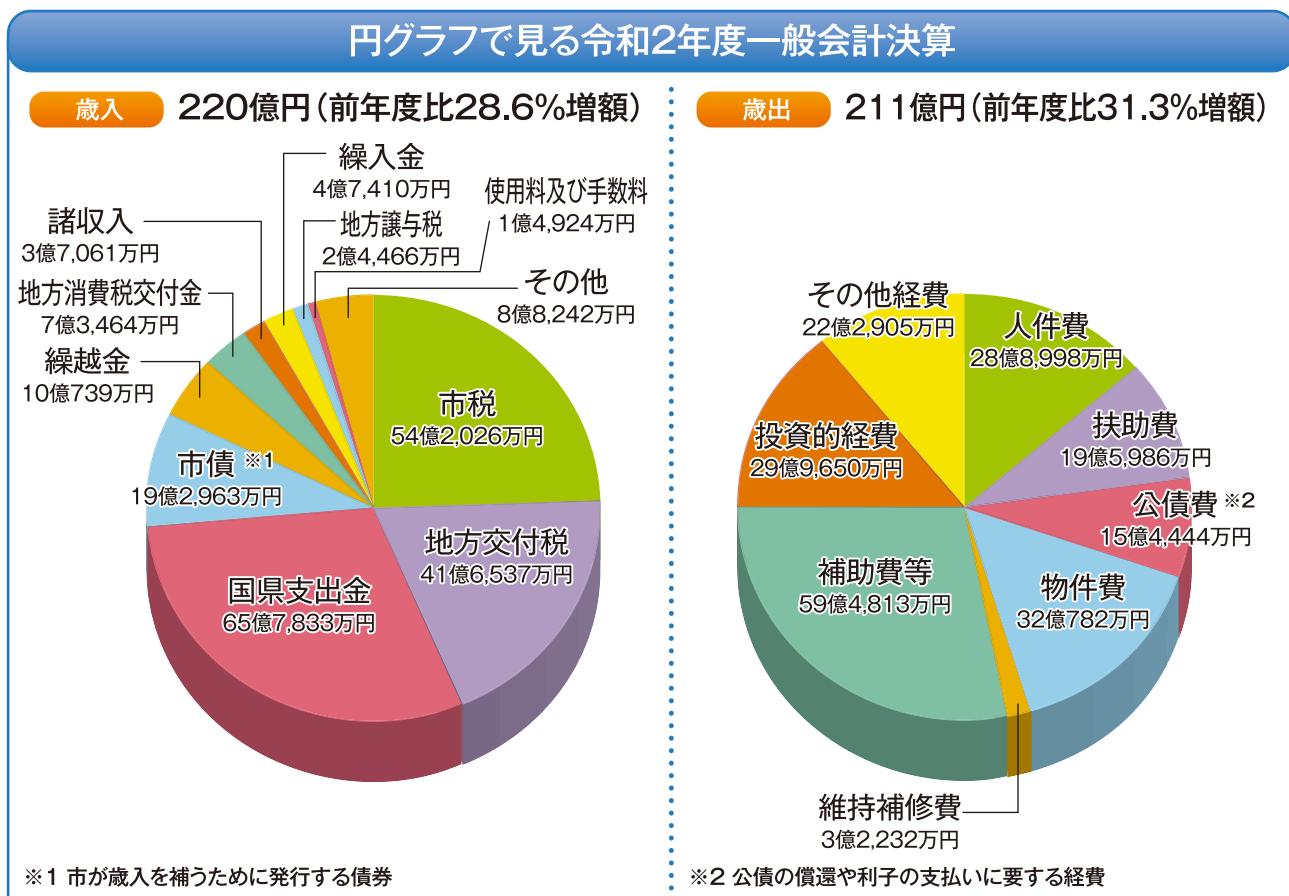
### 記

- 1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしづ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含めて、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

●定例会で決まったこと●

# 令和2年度一般会計決算など決まる



## 市の財政(普通会計)は

### ○自主財源と依存財源

	令和2年度	令和元年度
自主財源	37.1%	48.9%
依存財源	62.9%	51.1%

### ○貯金(基金)の状況

	令和2年度	令和元年度
一般会計の基金	63億8,723万円	66億6,772万円
・財政調整基金	35億4,183万円	36億2,443万円
・その他	28億4,540万円	30億5,279万円

### ○財政力は

	令和2年度	令和元年度
※1財政力指数	0.578	0.584
※2経常収支比率	86.8%	87.7%

※1 1に近いほど財政力が強い

※2 財政構造の弾力性を把握するもので  
数値が低いほど財政にゆとりがある

### ○借金の状況

	令和2年度	令和元年度
地方債残高	171億9,652万円	167億4,662万円

### ○市民一人当たりでは(令和3年3月末人口33,580人)

	令和2年度	令和元年度
市 税	16.1万円	16.0万円
貯 金	19.0万円	19.7万円
借 金	51.2万円	49.5万円

## ●定例会で決まったこと●

## 令和2年度に行われた主な事業

## 自然と共生する安全なまち

## ○本巣ストックヤード駐車場増設工事・645万円

施設の駐車場を拡張することで、開放日における交通渋滞が緩和されるとともに、利用者の利便性が増し、市民が施設を安全に利用できるようになりました。

## ○防災情報システム導入事業 .....1,855万円

雨量、河川の水位、土砂災害、避難者などの各種情報を常時集約し、災害対策本部で決定した対策を全庁的に共有し、関係部署間で連携を密にして対応できるシステムを整備しました。

## ○国土強靭化地域計画策定事業 .....261万円

風水害や地震など、自然災害が発生した場合でも機能不全に陥らず、強く、しなやかな本巣市を実現するため策定しました。

## ○ポータブル蓄電池購入事業 .....991万円

避難所が停電していても空気清浄機や扇風機、スマホなどへの充電ステーションとして利用できるポータブル蓄電池と充電用ソーラーパネルを購入しました。

## 住みやすく安心して暮らせるまち

## ○市営バス更新事業 .....701万円

平成22年に購入した本巣北部線を運行する車両を更新しました。

## ○合併処理浄化槽設置整備事業補助金

.....5,297万円

合併処理浄化槽の設置を促進し、生活排水による河川の水質汚濁の進行を防止して、生活環境の保全を図りました。

## ○ブロック塀等撤去・改修補助事業 .....222万円

地震発生時の生命の安全確保を目的として、市内の道路沿いに建つブロック塀等の撤去又は改修するのに必要な経費の一部を補助しました。

## ○消防車等購入事業 .....3,261万円

配備から20年を経過した消防車両の更新を行うことで、消防力の維持及び充実を図りました。

## ○防災行政無線設備再整備事業 .....9,299万円

新スプリアス規格に対応するため、親局、3中継局、14子局の設備を更新しました。

## 人にやさしく生きがいのあるまち

## ○障がい者福祉計画策定事業 .....161万円

「障害者計画」、「障害福祉計画」、「障害児福祉計画」の3種類の計画を1冊の計画にまとめて、計画の融和と整備性を図り、より効果的に障がい者施策の推進が図れるよう作成しました。

## ○特別定額給付金給付事業 .....34億1,848万円

国の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」により、迅速に給付金を支給することで、市民生活の安定を図り、生活を安定させることを目的に、1人につき10万円を支給しました。

## ○医療用ウイッグ購入費助成事業 .....10万円

がん患者の医療用ウイッグの購入に要する経費に対し、助成金を交付しました。

## ○新型コロナワクチン接種事業

.....538万円

国が示した接種順位や接種の時期に則り、住民への新型コロナワクチンの接種が円滑にかつ効率的に行われるよう体制を整えました。

## 地域の子どもをみんなで育てるまち

## ○子育て世帯応援給付金給付事業 .....9,195万円

新型コロナウイルス感染症により様々な影響を受けている全ての子育て世帯に対し、生活への負担軽減措置として市独自の応援給付金を支給しました。

## ○新生児特別定額給付金事業 .....1,675万円

特別定額給付金給付事業の基準日後から令和3年4月1日までに出生した子どもを養育する世帯に、新生児1人につき、もとまる商品券10万円分を支給しました。

## ○ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業

.....3,168万円

子育てと仕事を一人で担う低所得のひとり親世帯の子育て負担の増加や収入減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給しました。

## ○幼児園施設防犯カメラ設置事業 .....885万円

園児の安全安心な園生活を確保するために、市内8幼児園及び子どもセンターに防犯カメラを設置して、防犯対策の充実に努めました。

## ●定例会で決まったこと●

## 令和2年度に行われた主な事業

## 資源を活かして活力を創造するまち

- スマート農業技術実証農場設置事業 ..... 209万円  
スマート農業技術を地域に普及させるための実証農場を設置するとともに、必要な農業機械等の導入を支援しました。
- 商工会振興補助金 ..... 1億8,878万円  
市商工会がプレミアム付商品券を発行する事業に対して補助を行い、市内の消費喚起を促すとともに、地域の事業者支援を行いました。
- 新型コロナウイルス感染防止対策事業者支援助成金 ..... 1,999万円  
市内事業者が施設又は店舗において、新型コロナウイルス感染防止対策に必要な施設及び設備の改修、備品及び衛生用品等の購入を行った場合の経費の一部を助成しました。

## 学び合い育ち合い文化を伝えるまち

- 教科専門指導員配置事業 ..... 2,921万円  
既に配置されている理科以外に、新たに体育、図画工作、音楽、家庭科の専門的な指導力を有する教員を小学校に指導員として配置し、より質の高い授業を確保しました。
- 修学旅行思い出づくり支援事業 ..... 1,262万円  
新型コロナウイルス感染症によって修学旅行が中止となった小学6年生、中学3年生に対し、旅行券を交付しました。

## ○特別会計の決算

	歳入	歳出	収支
国民健康保険 (事業勘定)	35億5,516万円	34億3,734万円	1億1,782万円
国民健康保険 (施設勘定)	2億4,779万円	2億3,597万円	1,182万円
後期高齢者医療	4億5,375万円	4億4,944万円	431万円
企業用地造成事業	3億4,698万円	3億4,698万円	1千円
農業集落排水事業	6億9,698万円	6億6,647万円	3,051万円

## 市民と行政がともにつくる自律したまち

- 公共施設等総合管理計画フォローアップ事業 ..... 440万円  
平成28年度に策定した本巣市公共施設等総合管理計画を10年ごとに見直し、計画を着実に実施するためにフォローアップを行いました。
- 第2次総合計画後期基本計画策定事業 ..... 1,120万円  
本巣市第2次総合計画前期基本計画が令和2年度で満了することから、前期計画の検証のもと、本市の抱える課題などを整理し、令和3年度を初年度とする第2次総合計画後期基本計画を策定しました。
- 未利用施設等解体撤去事業 ..... 2,632万円  
将来的に利用見込みもなく耐震基準を満たさない建物や倒壊の恐れのある施設等を解体撤去しました。

## 道路改良関係

- 市道糸貫0007号線整備事業 ..... 6,534万円
- 長良糸貫線道路整備事業 ..... 4億9,534万円
- 市道真正2005号線整備事業 ..... 6,990万円
- 市道糸貫0006号線整備事業 ..... 2,340万円
- 市道本巣1013号線整備事業 ..... 1,383万円
- 市道真正2010・2268号線整備事業 ..... 1,078万円
- 市道真正1069号線整備事業 ..... 1,485万円
- 市道糸貫2120号線整備事業 ..... 583万円
- 市道糸貫4168号線整備事業 ..... 1,074万円
- 市道真正2007号線整備事業 ..... 1,032万円

## ○企業会計の決算

	水道事業	下水道事業
収益的収入	8億6,967万円	3億7,483万円
収益的支出	8億5,662万円	3億8,313万円
資本的収入	3億5,669万円	1億2,296万円
資本的支出	7億3,332万円	1億5,669万円



9月定例会

# 1会派が代表質問に立つ

●代表質問●



市政自民クラブ代表

**若原敏郎**

**Q 新型コロナウイルス感染防止の現状と対策は**

首都圏は感染者過去最多を更新し、病院の受け入れ拒否や自警戒を強め万全の感染防止対策が必要でないか、現状を伺う。

**Q 64歳以下のワクチン接種の推進状況と、接種完了は**

**A1 10月中には64歳以下の方80%が接種できるよう計画**

高橋・健康福祉部長

7月中に65歳以上の接種を完了し、7月末から64歳以下の基礎疾患の方・優先的接種から一般の接種の方を開始しています。

**A2 検査場の開設期間を来年3月まで延長し進めてます**

市内設置のドライブスルーによるPCR検査場で、8月に入り陽性者が増加傾向にあります。

**Q3 他市の市民病院は自身の市民優先とならないか**

**A3 医療の協力体制があり、そのような事態はないと考えます**

本市には、市民病院などはありませんので入院が必要な時は受け入れ可能な病院を探していただけます。

**Q4 自宅療養が起きた時の市の対応と、看護体制は**

**A4 県の支援体制のもと進めます**

看護体制は県の支援チームにより定期的な体調確認、24時間相談窓口が設置されます。

**A5 市民の命を守るために考えたことがあります**

藤原・市長

市は「イベントの中止」「公共施設の閉館」などの対策の実施。市民各自には行動自制をお願いします。

**Q 災害に耐える本巣市に**

この夏も各地で洪水・土砂災害が発生しました。本市でいつもおきても不思議でない豪雨災害を、再確認する必要があるが。

**A1 結果はハザードマップに表示**

久富・総務部長

**A2 越美山系砂防事業において砂防事業を直轄事業で実施**

市は道路防災点検をし、計画的な対策工事の実施をします。

**Q3 平野部の洪水マップでは、市民の何%が避難所へ入れるか**

**A3 真正地域では約53%が利用できますが、コロナ禍では18%**

**Q4 被災者救済はどこまで、できますか**

**A4 災害弔慰金の支給等に関する法律に基づき支給**

藤原・市長

本巣市災害弔慰金の支給等に関する条例を定め、災害弔慰金・災害障害見舞金等を支給します。また被害を受けた世帯主に対し、被害の程度に応じて災害援護資金の貸し付けを行います。

**Q 子どもの貧困対策は**

青山・教育委員会事務局長

将来を担う本巣市の子どもたちをだれ一人取り残さないためには。

**Q 学校教育について**

川治・教育長

学習用タブレット端末が授業に活用されていますが。

**Q1 長時間使用にあたっての健康への指導は**

**A1 使用についての重要な項目、注意事項は全家庭配布し説明**

青山・教育委員会事務局長

**A2 Q2 教育の目的外への使用制限は厳選した学習用のソフトウェアのみインストールしてます**

教育委員会・市民環境部・健

康福祉部で連携し助成事業を実施しています。

**Q2 貧困対策計画策定の努力義務が本市に課されていますが**

青山・教育委員会事務局長

**A2 「第2期本巣市子ども・子育て支援事業計画」に位置づけ**

新型コロナウイルス感染症など、予期せぬ変化にも柔軟に取り組んでいきます。

**Q3 貸与物品の利用履歴の確認は**

**A3 通常は確認しないが、対応でりませんので入院が必要な時は受け入れ可能な病院を探していただけます。**

**A4 本格的運用となってきた状況**

欠席者などへのオンライン授業、長期休業中の児童・生徒・担任と結んだオンラインの学習も定着してきました。



●一般質問●

## 9月定例会 8人が一般質問に立つ



高橋 勇樹

**Q 子ども・子育て支援計画について**

**Q1 本市の子どもの一時預かりの現状と今後は**

核家族化が進み、一時預かりの場の確保や利便性が課題と感じています。

**A1 現状は社会福祉法人へ委託**

青山・教育委員会事務局長

今後、現状の子育て短期支援事業やファミリーサポートセンター事業以外の一時預かり事業も模索していきます。

**Q2 育休退園の現状と今後は**

全国的に育休退園が子育て世帯にとって問題となっている。近隣市町でも見直されてきたが、本市は。

**A2 家庭の事情で継続利用が必要な場合は認めてます**

子どもセンター、園庭開放などの事業により、家庭での保育支援も充実させていきたい。

**Q1 施設利用予約について**

本市では紙面での予約が主と用の見解は

なっている。DXやSDGsの観点から、ネット予約システムを導入しては。

**A1 今後、早期にオンライン申請サービス導入を進めます**

久富・総務部長

**Q 市立幼稚園の運営について**

**Q1 幼稚園の今後の運営の見解は**

全国的に幼稚園や保育園の民営化が進んでいます。本市の教育は、幼小中一貫教育を特色の一つとしてますが、民営化されると不安を感じる方もいます。

**A1 民間への委託は考えてません**

川治・教育長

公立の良さを前面に出し、より一層地域の教育力を生かした幼小中一貫教育を進めます。

**Q 子どもたちのシビックプライドを育む体制について**

シビックプライドとは、まちへの「誇り」「愛着」「共感」をもち、まちのために自ら関わっていこうという当事者意識に基づく自負心のことです。

**A1 幼児園から継続・発展したふは**

るさと学習で育成してます

川治・教育長

**Q ウエディング応援事業について**

久富・総務部長

今枝和子  
(公明党)

**Q 災害に負けない街づくりについて**

防災士研修会場が市内にあります。より多くの防災士誕生が期待できます。

**Q1 本市で防災士研修会を開催できなか、その見解は**

婚姻届提出時の記念撮影には各庁舎玄関に設置の「もとまるスタンド」を案内します。

**A1 業務支援を受け実施できるよう検討しています**

**A1 業務支援を受け実施できるよう検討しています**

久富・総務部長

**Q2 防災教育の現状とジュニア防災士の取り組みへの見解は**

A2 今年から10月にジュニア防災リーダー養成講座を行います

川治・教育長

ジュニア防災リーダーを中心として持続的に学校・家庭・地域の防災力の向上につなげ、災害に強い本巣市をつくりあげます。

**A1 SDGsに特化した事業を計画する場合は検討します**

洞口・企画部長

**Q3 AEDのコンビニ設置についての見解は**

**A3 設置することは難しいと考えてます**

**Q ウエディング応援事業につ**

コロナ禍において結婚式を断念せざるを得ないカップルに寄り添う何かをと考えます。

**A1 フォトブース設置やウエディング写真応援事業への見解は中止や延期した人のみへの特別の支援は考えてません**

**Q SDGs推進プロジェクトチーム創設への見解は**

SDGsでは、2030年の「望ましい姿」を描き、現在との隔たりを整理した上で、今何を行なべきかの計画を立てなければなりません。早急に、各部署がSDGs推進へ取り組んでいただきたいと考えます。

**Q SDGs推進プロジェクトチーム創設への見解は**

**Q SDGsに特化した事業を計画する場合は検討します**

洞口・企画部長



## ●一般質問●



## 高田 浩視

高橋・健康福祉部長

- A1 属性ごとのニーズに対応した  
相談体制を構築しています

## Q 通学路の安全対策について

小学生の列に飲酒運転の車両が突っ込み、幼い命が奪われる交通事故が発生しています。対策の見直しが必要です。

## Q1 防護柵設置の効果は

A1 車両に対する防護効果は境界ブロックより防護柵が有効

原・産業建設部長

A2 Q2 交差点の防護柵の設置状況は設置が可能と判断できる箇所は設置済です

A3 Q3 通学路の防護柵の設置は

A3 通学路改善要望により、毎年順次改善しています

青山・教育委員会事務局長

毎年、自治会やPTAからの要望を通学路安全会議で対策を検討しています。

- A2 Q2 アウトリーチの体制は情報をもとに潜在的なニーズを掘り起こします

自らSOSを出せない人に対して支援の入り口を積極的に作るよう努めています。

## Q3 重層的支援体制整備事業の実施は

## A3 庁舎統合の機に統括できる機関の設置を目指します

感染拡大防止にはDXの推進が有効な手段と考えます。手続きの効率化や人流の抑制を進める施策を検討すべきです。

## Q DXの進め方について

感染拡大防止にはDXの推進が有効な手段と考えます。手続きの効率化や人流の抑制を進めるべきです。



## 寺町 茂

川治・教育

- A1 教科担任制のメリットと期待されるることは何か

A1 子どもに力がつき、教員に力が付き、働き方改革にも有効

## Q 山口頭首工の工事について

Q1 昨年度の工事の手違いによる完全止水の影響は

A1 水生生物への影響があつたと考えられます

村澤・市民環境部長

魚の種類が前年度に比べ、糸貫地域上保地内の山谷水路で5種の減少、真正地域上真桑地内の旦内水路で4種の減少さらに十四条地内の馬伏川水路で3種の減少が判明しました。他の影響が少なかつた水路は、過去に生態系に配慮した水路改修がされたことがその要因と考えられます。

## Q2 小中一貫教育のメリットは何か。小中一貫教育の展開は

A2 小中学校の連携、教育目標の一貫化など現在進めています

小中一貫教育のメリットは、

①9年間を見通した教育内容の充実②教科担任制を促進した学力向上③心の安定や成長④指導体制の強化⑤保護者・地域との連携強化の5つです。これまでの本巣市らしい「小中一貫型学校」として位置づけ、義務教育

学校の成果を検証し、さらに工夫しながら3地域の小中学校に取り入れていきたい。

## Q 地域共生社会の取り組みは

国は重層的支援体制整備事業を創設しました。属性を問わない包括的な支援体制の構築を、市町村が創意工夫をもつて円滑に実施できる支援です。

## Q1 相談体制は一avezに対応できていますか

久富・総務部長

## Q2 リモートワークを行う拠点等を整備することが有効では適した施設はなく困難です

## Q3 昨年度の工事の遅れが工事完了の遅れにならないか

A3 計画通り令和6年度に完了するよう事業促進を図ります

A1 教科担任制・小中一貫教育について

本市では、担任同士が自分の専門教科を交換し合って授業をする方法、担任以外の教頭や教務主任、教科専門加配教員などが自分の専門教科を指導する方法を行っています。理科、音楽、図工、体育、家庭科、英語など、本巣市独自の「教科専門指導員制度」を確立し、今後さらに児童一人一人に生きてはたらく学びを身につけていきたいと考えています。

小中一貫教育のメリットは、

①9年間を見通した教育内容の充実②教科担任制を促進した学力向上③心の安定や成長④指導体制の強化⑤保護者・地域との連携強化の5つです。これまでの本巣市らしい「小中一貫型学校」として位置づけ、義務教育

学校の成果を検証し、さらに工夫ながら3地域の小中学校に取り入れていきたい。

# 本巣市議会だより

## ●一般質問●

Q

7月に発生した熱海市の土石流災害について



**河村志信**

**Q 本市での重金属の状況と農産物への影響について**

四大公害と呼ばれた熊本県水俣湾や新潟県阿賀野川流域の有機水銀中毒。富山県神通川流域のカドミウム汚染によるイタライタイ病。大気汚染による三重県四日市ぜん息など、公害による負の歴史があります。

**Q1 本市においての重金属の状況と農作物への影響について**

**A1 每年、玄米や土壤中のカドミウム含有量の測定検査を実施**

原・産業建設部長

「農用地の土壤の汚染防止等に関する法律」で特定有害物質として、銅、カドミウム、ヒ素の三元素が指定されています。

**A1 自主財源を確保できるネーミングライツは有効と考えます**

洞口・企画部長

土壤汚染のほとんどが、水系、大気を通じて発生し、ひとたび汚染されると重金属を取り除くことは困難です。農地の汚染は、土壤を通じて農作物に蓄積され、食料として人体への健康被害へつながる場合もあります。

うことができます。

**Q3 改善要望に対応して適切に対処していくきます**

**A1 5月より避難勧告がなくなり、避難指示一本になりました**

久富・総務部長

**Q1 災害時の避難体制、防災訓練、自主防災組織の現状は**

**A1 5月より避難勧告がなくなり、避難指示一本になりました**



**澤村均**  
(日本共産党)

災害が発生するおそれがある前に、先ず、市民の皆様が、自らが取るべき避難行動の確認や、早めの避難準備をしていただき、さらに危険を感じたときは自主的に避難することも重要だと考えます。

**Q1 車両の時間帯規制等の無い集落を通る通学路の安全確保は**

**A1 歩道の柵やガードレールの設置等の方法を考えています**

青山・教育委員会事務局長

その他に歩道のカラー舗装表示や看板による注意喚起も有効な方法と考えています。

本巣小では毎朝その通学路を30kmで走るペースカーを走行させる取り組みもしています。

**Q2 通学路を知らせる標識はすべての通学路に設置してあるか**

**A2 当該道路の始点と終点や大きな交差点を中心にして設置**

さらに、学校やP.T.A及び自治会において必要と思われる箇所について、毎年の通学路改善要望として出され、追加設置を道路管理者において公安委員会との協議を踏まえて設置していきます。

**Q2 本市の陽性者で重症化した患者は**

**A2 保健所管轄で個人情報保護の観点から把握できません**

sponsa企業の広告や社会貢献の機会となり、企業の知名度の向上にもつながります。また、市にとつても安定した自主財源を確保することができ、公共施設の継続的な維持管理を行うことができます。

重症化した方の入院先は確保されます。事前に搬送先が確保されている状況ではありません。

**Q3 信号機の無い横断歩道等には**

**A3 改善要望に対応して適切に対処していくきます**

されますが、事前に搬送先が確保されている状況ではありません。

重症化した方の入院先は確保されます。事前に搬送先が確保されている状況ではありません。

横断歩道手前に路面を赤色でペイントする方法や交通標識を設置する方法等がありますが、改善方法も含めて通学路改善會議や関係機関と協議を踏まえて決定していきます。

**Q1 コロナ感染症を押さえ込むための独自の施策は**

**A1 PCR検査を無料で定期的に行なっては**

**Q1 財政的にかなり負担になります**

**A1 高橋・健康福祉部長**  
市民の皆様にはご自身および家族の行動変容に取り組んでいたり、体調の変化や異変を感じた方はいち早く医療機関で受診されることをお勧めします。

**Q2 本市の陽性者で重症化した患者は**

**A2 保健所管轄で個人情報保護の観点から把握できません**

sponsa企業の広告や社会貢献の機会となり、企業の知名度の向上にもつながります。また、市にとつても安定した自主財源を確保することができ、公共施設の継続的な維持管理を行

うことができます。

**Q3 自宅療養者が重症化した時の緊急搬送先は確保されてるか**

**A3 消防署と病院のやりとりで搬送先を決定します**

重症化した方の入院先は確保されます。事前に搬送先が確保されている状況ではありません。

重症化した方の入院先は確保されます。事前に搬送先が確保されている状況ではありません。

## ●一般質問●



## 堀部 好秀

**A1 外山小学校27名、根尾小学校全員です**

状況は

川治・教育長

**Q 職員の時間外勤務について**

市職員も働き方改革に取り組む必要があります。しかし、長時間労働や時間外勤務手当の不請求などの実態が判明しました。

**Q1 一般行政職の時間外勤務を改善する対応策は**

**A1 事務の効率化や労働力の確保**

洞口・企画部長

**Q2 幼児園の勤務体系や時間外勤務を改善する対応策は**

**A2 保育士の確保や業務の見直し**

青山・教育委員会事務局長

**Q3 対応策についての市の考えは**

**A3 まずは時間外手当を適切に支給します**

大野・副市長

スクールバスの活用が通学路の安全を守る重要な選択肢とし、遠距離歩通学児童の関係者の意見などを調査し検討します。



**Q1 本巣市内のスクールバス導入**

**Q スクールバスについて**

業務の効率性を最優先に求め、適切な人員確保を行い時間外勤務の縮減を図ります。

職員が、正しい知識と共通の認識を持つことにも努めます。

**A A 今年度中に検討を進め、指針を策定します**

洞口・企画部長

市の職場においてハラスメントの認定を統括的に判断できる対策協議会等が必要です。その設置の検討状況は。



## 鍔 本規之

**A2 新庁舎の完成後に取り壊す方針です**

同じ敷地にあり、建築後43年の糸貫老人福祉センター、また建築後44年の糸貫体育センターのそれぞれの統合方法を検討し、これらの施設とあわせ、売却も含めて土地の一体的かつ有効な跡地利用を進めます。

**Q 庁舎など市の施設について**

本巣市では分庁舎方式を合併以来続けていますが、各庁舎は老朽化が進んでいます。特に1969年竣工の糸貫分庁舎

西棟は他の庁舎よりもひどく、安心して仕事が出来る環境であるのか疑問に思うところです。

引っ越し先となる新庁舎は、地主さん達との間では売買契約が未だ交わされておらず、当初の新庁舎完成予定より遅れつります。

**Q1 新庁舎の土地の売買契約の進捗状況は**

**A1 当初予算で購入予定の土地10筆のうち9筆は仮契約済み**

久富・総務部長

残りの1筆についても、売買のご承諾をいただいています。6月定例会で補正予算をお認めいたいた土地1筆についても、売買についてご理解をいただいている、現在交渉を行っています。

**Q2 新庁舎完成後、糸貫分庁舎のあり方は**

既存の工事用道路を活用したルートで調整しており、自転車の利用だけでなく歩行者も利用できるよう、片側2mの幅員を確保し、全幅4mの計画としています。健康増進及び体力づくりを目的として整備を進めているもので、まずはサイクリングロードとしての整備を進めます。

**Q1 サイクリングロードの今後の計画は**

**A1 詳細設計及び河川管理者と協議を進めてます**

藤原・市長

## ●委員会活動●

## 予算決算委員会 8月19日(木)、9月3日(金)

### 【予算決算委員会 8月19日(木)】

執行部からの各議案について補足説明を受け、各分科会に審査項目を割振り

### 【文教福祉分科会 8月27日(金)】

#### 主な質疑の内容

##### ○令和2年度本巣市一般会計補正予算(第5号)について

- ・三世代同居・近居支援事業補助金について、交付世帯数の増加内容は
- 令和2年度本巣市一般会計歳入歳出決算について
  - ・教科専門指導員を13人配置したことで次年度への礎ができたと考えるか
  - ・コロナ禍における学校給食センター調理業務等委託事業に係る委託料への影響は
  - ・地産地消事業追加コロナ対策について、従来の地産地消事業との違いは
  - ・真正ストックヤード周辺道路の交通整理への対策は
  - ・乳がん検診Web予約事業について、乳がん健診以外にWeb予約はできないか

##### ○令和2年度本巣市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について

- ・診療所における医療機器の過疎債を活用した購入は
- ・本巣・根尾診療所ともに利用者が減少している理由は

### 【産業建設分科会 8月30日(月)】

#### 主な質疑の内容

##### ○令和2年度本巣市一般会計補正予算(第5号)について

- ・麦・大豆生産性向上対策推進事業について、予算と比べ大きく拡充となっているがその内容と補助金の限度額は
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止協力事業の第3弾・第4弾では1日当たりの店舗に支払う単価に違いがあるがその理由は



▲補正予算・決算について審議する委員

##### ○令和2年度本巣市一般会計歳入歳出決算について

- ・狭い道路後退用地整備事業について、各地域の狭い道路をどのように把握しているのか
- ・都市計画として狭小な道路を今後改善していく考えは
- ・PA周辺公園整備事業について、(仮)糸貫IC開通見通し前の早期完了予定は
- ・中山間地域等担い手育成支援事及びスマート農業技術導入支援事業について、当初予算の内容と決算で報告された内容に差異があるがその内容は

##### ○令和2年度本巣市水道事業会計決算について

- ・純利益は赤字だが、資金不足になっていないと考えるのか

## ●委員会活動●

**【総務企画分科会 8月31日(火)】****主な質疑の内容****○令和2年度本巣市一般会計補正予算(第5号)について**

- ・防災行政無線整備工事について、東海環状自動車道により電柱が撤去される  
ものだが、NEXCO等からの補償はないのか

**○令和2年度本巣市一般会計歳入歳出決算について**

- ・市民税・固定資産税が納税されない理由は
- ・利用されていない施設については取り壊して土地とともに処分してはどうか
- ・事務事業評価の評価結果は公表されるのか

**【予算決算委員会 9月3日(金)】**

※審査の結果、全員賛成となった案件

- 1.令和3年度本巣市一般会計補正予算(第5号)について
- 2.令和3年度本巣市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
- 3.令和2年度本巣市一般会計歳入歳出決算について
- 4.令和2年度本巣市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について
- 5.令和2年度本巣市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について
- 6.令和2年度本巣市企業用地造成事業特別会計歳入歳出決算について
- 7.令和2年度本巣市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について
- 8.令和2年度本巣市水道事業会計決算について
- 9.令和2年度本巣市下水道事業会計決算について

**文教福祉委員会****8月27日(金)****付託案件** ※審査の結果、全員賛成となった案件

- 1.本巣市障害者生活支援センター条例の一部を改正する  
条例について
- 2.本巣市小学校及び中学校設置条例の一部を改正する  
条例について



▲付託議案について審議する委員

**文教福祉委員会協議会****8月27日(金)****報告案件**

- 1.令和2年度本巣市教育委員会事務事業の点検・評価結果報告について

**主な質疑の内容**

- ・ウィズコロナの考え方を大切にした、コロナ禍での事業の実施の考え方は
- ・事務事業の点検・評価における評価方法の見直しは

## ●委員会活動●

## 総務企画委員会

8月31日(火)

## 付託案件 ※審査の結果、全員賛成となった案件

## 1.過疎地域の持続的発展の支援に係る固定資産税の特例に関する条例について

## 主な質疑の内容

- ・減免措置が3年間となっている理由は
- ・該当する事業所はどの程度あるのか
- ・行政から対象者に申請書等を送付するなどの取り組みは
- ・制度が認知され多くの方に活用されるためのPR方法は



▲防災資機材について視察する委員

## 視察 避難所における防災資機材について

## 総務企画委員会協議会

8月31日(火)

## 報告案件

## 1.庁舎整備における用地交渉状況について

## 主な質疑の内容

- ・現在、用地交渉中ということだが、予定どおり庁舎は完成できるのか

												議員活動日誌	会議名等	
日付		場所												
月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月	日	月
10月 25日 (月)	10月 22日 (金)	10月 21日 (木)	10月 20日 (水)	10月 15日 (金)	10月 14日 (木)	10月 13日 (水)	10月 8日 (金)	9月 28日 (火)	9月 10日 (金)	9月 8日 (水)	9月 8日 (水)	本庁舎	本庁舎	本庁舎
真正分庁舎	真正分庁舎	真正分庁舎	真正分庁舎	本庁舎	本庁舎	真正分庁舎	本庁舎	本庁舎	本庁舎	本庁舎	本会議(閉会)	全員協議会	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会
もとす広域連合	もとす広域連合	もとす広域連合	もとす広域連合	もとす広域連合	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会						
療育医療衛生常任委員会	老人福祉常任委員会	老人福祉常任委員会	老人福祉常任委員会	総務介護常任委員会	総務介護常任委員会	定例会開会	定例会開会	全員協議会	全員協議会	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会	議会だより編集特別委員会

## ●審議結果および各議員の表決●

【表示記号】 「○」…賛成 「×」…反対 「-」…欠席・除斥等による不参加 「/」…議長のため採決に加わらない

令和3年第3回定例会																	
議員名(議席番号順)													議決結果				
市長提出議案	議案番号・議案名等	高橋 勇樹	今枝 和子	高田 浩視	寺町 茂	河村 志信	澤村 均	堀部 好秀	鍔本 規之	黒田 芳弘	臼井 悦子	道下 和茂	村瀬 明義	若原 敏郎	瀬川 治男	上谷 政明	大西 徳三郎
	議案第38号 物品売買契約の締結について(庁内LANネットワーク機器(インターネット接続系機器等))	可決	○	○	○	○	×	×	○	×	/	○	○	○	○	○	
	認定第6号 令和2年度水道事業会計決算について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	/	-	○	○	○	○	

令和3年第3回定例会(全会一致で可決された議案)															
市長提出議案	議案第34号 過疎地域の持続的発展の支援に係る本巣市固定資産税の特例に関する条例について	市長提出議案	認定第1号	令和2年度本巣市一般会計歳入歳出決算について											
	議案第35号 本巣市手数料徴収条例の一部を改正する条例について		認定第2号	令和2年度本巣市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について											
	議案第36号 本巣市障害者生活支援センター条例の一部を改正する条例について		認定第3号	令和2年度本巣市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について											
	議案第37号 本巣市小学校及び中学校設置条例の一部を改正する条例について		認定第4号	令和2年度本巣市用地造成事業特別会計歳入歳出決算について											
	議案第39号 本巣市過疎地域持続的発展計画について		認定第5号	令和2年度本巣市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について											
	議案第40号 令和3年度本巣市一般会計補正予算(第5号)について		認定第7号	令和2年度本巣市下水道事業会計決算について											
	議案第41号 令和3年度本巣市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	議員提出議案	発議第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について											

【表示記号】 「○」…賛成 「×」…反対 「-」…欠席・除斥等による不参加 「/」…議長のため採決に加わらない

令和3年第4回臨時会																	
議員名(議席番号順)															議決結果		
提出議員件	発議第5号 新庁舎整備推進に関する決議	高橋 知子	瀬川 照司	飯尾 龍也	片岡 孝一	高橋 時男	高橋 勇樹	今枝 和子	高田 浩視	河村 志信	堀部 好秀	鍔本 規之	黒田 芳弘	臼井 悦子	道下 和茂	上谷 政明	大西 徳三郎
		可決	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	/	×	×	○

令和3年第4回臨時会(全会一致で可決された議案)															
市長提出議案	報告第11号 専決処分の承認を求めることについて	市長提出議案	議案第43号 土地の取得について(庁舎建設用地)												
			議案第42号 本巣市監査委員の選任について												

議会開会のお知らせ

◆令和3年11月24日(水)(予定) 定例会

詳細確定後ホームページに掲載します。



## ●特集●

# コロナ禍における教育実践

令和2年度から5年間かけて実施予定であったGIGAスクール構想が、新型コロナウイルス感染症まん延により前倒しとなり、令和2年度末までにタブレット端末と大容量高速通信ネットワークが配備されました。本市では、このタブレット端末が、コロナ禍において学校が休校になつても「学びを止めないための大切な道具」となると考え、授業での積極的な活用を図るとともに、早くから家庭への持ち帰りを実施し、オンラインによる双方向学習を行つきました。

## 学校でのタブレットを使用した学習状況

タブレットや電子黒板の活用により、自分の考えを視覚的に表現したり、仲間の考え方を画面に一斉表示して、互いに理解を深め合ったりしています。

また、インターネットなどで自ら調べたり、先生が一人一人のタブレットに配信した資料を考察したりして、自分の考えを整理し、思考を広げ、学びを深めています。

### 《タブレットの使用上の注意点や留意点》

タブレットは有効な学習道具ですが、使用することが目的とならないようになることが大切です。自分の考えを練り上げたり思考を整理したりする場面では、これまで同様ノートを活用するなど、双方の利点を生かしたハイブリッドな授業をめざしています。



▲タブレットを使って課題追究する児童

## 家庭でのタブレットを使用した学習状況

子どもたちは家庭でも利用するため、定期的にタブレットを持ち帰り学習に活用しています。タブレットを使って、宿題をやったノートを写真に撮って提出したり、課題に対するレポートを作成したりしています。

また、自分の苦手を克服するために、自分に合った問題が出題されるAIドリルにも取り組んでいます。その際、ネット環境のない家庭には、学習プリントを配付したり、問題データをタブレットに入れたりするなど、ネットを介さなくても学習ができるように配慮しています。

### 《保護者との連携（目的外使用への制限など）》

フィルタリングソフトを使って、有害サイトへのアクセスを制限したり、深夜のインターネット利用ができないように設定しています。また、一人一人にランダムなパスワードを割り振ったり、チャット機能を制限したりするなど、個人情報保護や児童生徒間のトラブル回避対策も行っています。



▲家庭でオンライン授業を受ける児童

## 学校と家庭を結ぶオンラインでの活用

夏休み明けの新型コロナウイルスまん延に伴う臨時休業期間には、会議ソフトを活用してオンライン朝の会を実施し、一日の学習計画を立てたり、家庭でタブレットを見ている子どもたちに向か、カメラを通して担任が授業を行い、双方向でやり取りするなどの実践を行いました。

更には、この期間を利用し、個別のオンライン教育相談会を実施し、担任と児童生徒がじっくり話し合う機会を設けました。



▲学校でのオンライン使用



### 議会だより編集特別委員会

旧 ○臼井悦子 ○高橋勇樹 村瀬明義 河村志信 高田浩視  
新 ○高橋勇樹 ○河村志信 高田浩視 片岡孝一 高橋知子